
◎事務部だより

森永 寛名誉教授「温泉関係功労者表彰」受賞

前岡山大学医学部附属病院三朝分院長の森永寛名誉教授は、温泉法交付の日にあたる去る7月10日、環境庁長官から温泉関係功労者表彰を受賞されました。

森永名誉教授は、昭和19年7月の三朝分院着任以来、退官される昭和61年3月までの41年間余、三朝の地で一貫して温泉の学理と臨床医学への応用、特に医療としての温泉の利活用等に先進的に取り組まれ、三朝地区発展へ大きく貢献されました。研究面においては常に関連学会の要職にあり、又三朝町、鳥取県の温泉審議会委員等として行政面においても精力的に活躍され、我が国の温泉医学並びに行政面に大きな足跡を残されました。

今般の表彰は、森永名誉教授のこれまでの両面にわたる業績が高く評価されて実現したもので、温泉一筋に取り組まれた御自身のお喜びはもとより、精力的に温泉医療に取り組む三朝分院教職員にとっても、大きな勇気と喜びをもたらすものです。

森永名誉教授には、今後も御健康で、引き続き我が国温泉医学の発展に御尽力頂きますようお願い致します。

「第15回喘息児童の夏期教室」を後援

喘息に苦しむ児童を対象に、毎年開催されている(財)日本アレルギー協会中国支部主催の「喘息児童の夏期教室」は、第15回目を迎えた今年も岡山県真庭郡勝山町を会場に8月4日から8月8日までの5日間にわたって開催された。

三朝分院では従来からこの教室の重要性を認識し、又同疾患の治療に取り組む医療機関として側面的に協力を行って来たが、本年からは正式な開催スタッフとして、医師、看護婦を派遣し、開催を後援した。

三朝分院は、喘息疾患の先進的な治療(水泳療法など)に取り組んでおり、今後も精力的にこのような事業を支援し、先進医療施設としての義務と責任を果たしたい。

「鳥取県中部医師会研修会」を受け入れ

昭和62年8月9日に鳥取県中部医師会の研修会が、当三朝分院において開催された。この研修会は、鳥取県中部医師会に所属する開業医師の生涯教育事業の一環として計画され、当三朝分院に受け入れの要請があり、実施の運びとなったものである。

当日は地元の開業医師13人が参加し、午前9時から当三朝分院の内科医師によって超音波内視鏡診断法、気管支肺胞洗浄法の講義と実技指導が3時間にわたって行われ、大学病院が実施している先進医療の一端が披露された。

近年、開業医師等の卒後教育の必要性が叫ばれ、鳥取県中部医師会も研修会等を開催し、生涯教育に取り組んでおり、最新の医学を担う当三朝分院が当地域のリーダーとして、地元とのこのような交流は、今後益々重要になるものと思われます。